

令和2年度事業報告

概要

1. 先進国の中では動物性たんぱくの摂取量が少ない我が国で、鶏卵消費量は年間1人当たり333個と、世界2位であり、国産食肉で国内生産量の第1位は、鶏肉です。まさに鶏卵産業、ブロイラー産業は、日本人の生命を支える、重要で、無くてはならない産業です。

種鶏孵卵業界は、その産業の基となる優良で、清浄なひなを供給する役割を果たすために、合理化や、大規模化を推進して永年努力を続けてまいりました。

しかしながら、世界的な潮流である、養鶏産業の大規模寡占化は日本も例外ではなく、種鶏孵卵業のそれを大きく上回り、業界での相対的地位は低下し、利益率を低下させ、従来延長で業務を継続することが困難な状況になって来ました。この状況下において、我が（一社）日本種鶏孵卵協会は、卵用、肉用の種鶏孵卵業者が参集して意見交換できる全国唯一の協会として、役員会、理事会、総会、講演会、等々を開催し、業界の意見を集約し、発信いたします。

同時に、将来の鶏卵生産量や鶏肉生産量を推測するために不可欠な、毎月のひな孵化羽数調査や、種鶏管理やふ化技術、という他では学ぶことのできない清浄雛を生産するために必要な技術や理論を伝習する講習会の開催を計画しております。

会員数の減少を余儀なくされておりますが、今後とも日本養鶏産業になくてはならない最も重要な素材を提供する業種として貢献してまいります。

令和2年度に実施した各事業の実施状況は次のとおり。

Ⅰ 公益目的事業

1. 種鶏導入調査事業（自主財源）

(1) レイヤー素ひな計画生産検討会・レイヤー鶏卵部会・ひな育成部会

2回（令和2年7月9日（木）、令和3年2月18日（木））開催し、レイヤー種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「令和2年次及び令和3年次の素ひな生産見込み等」について検討を行い、レイヤー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

(2) ブロイラー素ひな計画生産検討会・ブロイラー孵卵部会

2回（令和2年7月8日（水）、令和3年2月18日（木））開催し、ブロイラー種鶏導入実績及び種鶏導入計画を基に「令和2年次及び令和3年次の素ひな生産見込み等」について検討を行い、ブロイラー素ひなの生産見込み羽数を公表した。

2. 素ひな供給安定推進事業（孵化場体質強化推進事業）

（JRA 助成事業・自主財源事業）

（1）鶏ひなふ化羽数調査事業

毎月全国の孵化場（89 か所、レイヤー27 孵化場、ブロイラー62 孵化場）を対象に実施。レイヤーについては採卵用めすの素ひなの出荷・え付け羽数、ブロイラーについてはブロイラー用素ひなの出荷・え付け羽数について都道府県別を調査した。

（2）鶏ひなふ化羽数データの公表

調査結果は、毎月概要として協会のホームページに公表すると共に、調査協力孵化場に情報を提供した。また年報としてとりまとめて公表した。

（3）素ひな出荷・え付け羽数実績（全国、令和2年1月～12月）

- ・採卵用めすえ付け羽数
- ・ブロイラー用え付け羽数

3. 鶏肉の消費促進事業（自主財源）

全国鶏肉消費促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局（一社）日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援、助成。

構成団体：（協）日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会

（一社）日本養鶏協会、（一社）日本食鳥協会、

（一社）日本種鶏孵化協会

4. 孵化場体質強化推進事業（JRA 助成金・自主財源事業）

（1）孵化場体質強化推進委員会 開催

① 委員構成

都丸 高志：（株）トマル 代表取締役 会長

渡邊 周治：（株）ゲン・コーポレーション 代表取締役 社長

竹原 一明：東京農工大学 教授、獣医師・獣医学博士

林 政彦：独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場 場長

②事業推進委員会の開催

第一回推進委員会

開催日：令和2年6月17日

開催場所：東京八重洲ホール

出席者：都丸会長、渡邊副会長（委員長）、竹原委員、林委員

山上理事、山下監事、事務局 笹

協議決定事項：

1. 令和2年8月に岡山で計画した研修会をコロナウイルス問題のため、10月以降に変更する。

- II. 研修受け入れ人員を1社1名などに制限、研修会後の懇親会は実施しない。

第二回推進委員会

開催日：令和3年3月3日（水）

開催場所：馬事畜産会館及びWEBのインターネットツールを通じて参加。

出席者：都丸会長、渡邊副会長、竹原委員、林委員、山上理事、事務局 笹

協議事項：

- I. 事業達成目標の実績確認
- II. 事業進捗状況報告
- III. 自習種鶏孵卵衛生管理士研修会参加者のアンケートについて

5. 畜産生産力・生産体制強化対策事業（農水省補助事業）

（鶏のうち 始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の習得及び普及）

（1）始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の習得

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と技術者養成の業務委託契約を締結し、11月に青森県産業技術センターから研修生1名を受け入れて行った（期間令和2年11月8日から同月27日）。

（2）始原生殖細胞（PGCs）の凍結保存等技術の普及

令和3年2月に岐阜県において技術取得のセミナー開催を計画したが、コロナウイルス禍のため中止した（参加応募者18名）。

次年度に技術取得のセミナー開催を繰延べることに決定した。

II 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1. 外国人技術者の入国規制緩和に関する要望書の政府への提出

コロナウイルス感染症拡大に伴う外国人技術者の入国制限に対して、種鶏孵卵業者に不可欠な技術を有する外国人の入国規制緩和の要望書を農林水産省に提出を行い、素ヒナの安定供給に不可欠な外国人技術者については入国を認める特別枠が設けられた。

2. 令和2年度定時総会・理事会開催等

（1）第45回定時総会

開催日：令和2年5月28日（木）

場 所：敦賀市プラザ萬像

（2）協会運営事項

①令和2年度 事業・会計監査

開催日：令和3年4月23日（金）

場 所：協会事務所

②理事会

第1回 開催日：令和2年5月8日（金） 書面

第2回 開催日：令和2年5月30日（土）アサクマ（岐阜県）

第3回 開催日：令和2年7月9日（木）

第4回 開催日：令和3年2月17日（水）WEB会議

③正副会長会

第1回 開催日：令和2年5月30日（土）アサクマ（岐阜県）

第2回 開催日：令和2年7月9日（木）

第3回 開催日：令和3年2月17日（木）WEB会議

第4回 開催日：令和3年3月26日（金）

3. 外部関係団体の委員就任

(1) 都丸 高志会長

(公益財団法人) 畜産技術協会

令和2年度初生ひな鑑別師養成・鑑別技術向上事業推進委員。

(2) 渡邊 周治副会長

(一般社団法人) 日本養鶏協会

令和2年度鶏卵の需給見通しに関する検討委員会委員。

第2号（決議事項）令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件
令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書に関する件について、別紙
のとおり承認を求める。

以上

令和3年5月25日

一般社団法人 日本種鶏孵卵協会
会長 都丸 高志